

サークル Circle クローズアップ 日・光・人 People 人



こだまの会

こだまの会は、広報にこうした音訳を行い、視覚に障がいのある方に録音テープを届けているボランティアグループです。今市地域に「かわせみ(34名)」、日光地域に「つくしの会(24名)」、藤原地域に「ひまわり(12名)」、足尾地域に「やまびこ(12名)」の音訳グループがあり活動しています。その中で「同じことをやっているのだから悩みや問題を相談できる場所があったらいい」という話になり、昨年4つのグループが集まり会を立ち上げました。こだまの会では、年1回の交流会と各グループの代表が情報交換などをする定例会なども行っています。定例会では、悩みを分かち合ったり、各グループだけでは解決できない問題を解決したりしています。

活動内容 広報紙などの音訳
 会員 82名
 代表 佐藤 とき子
 問い合わせ先 市社会福祉協議会本所
 ☎21-2759

現在、広報紙などのテープへの吹き込みは各グループごとにやっている会だよりと社協だよりは持ち回りで、市の広報紙はすべてを吹き込むと10分テープに収まらないため、それぞれの地域の内容を充実させるよう工夫して吹き込んでいます。作業の開始から終了まで、4日から5日はかかるそうです。吹き込みを行う際に気をつけていることを伺うと「読み間違えをしないように、そして利用者に楽しく聴いてもらえるように吹き込みをしています。利用者から感謝の言葉をいただく、何よりうれしいですね」と会の皆さん。また、今後の抱負を「自分たちの技術向上はもちろんですが、高齢で視力の衰えた方にもテープを届けられる方法を考えていきたいです」と話してくれました。市内在住の視覚に障がいのある方で、希望される方には、広報紙をカセットテープに録音した「声の広報」を届けたいです。周囲に必要な方がおりましたら、市社会福祉協議会本所へご連絡ください。



吹き込みをしている様子。

上原 成之 さん 足尾町 在住

足尾地域で、唐風呂大根を作っている上原成之さんを紹介しよう。唐風呂大根は、足尾地域の唐風呂地区で栽培されている地大根で、原種は練馬大根だといわれています。表面が赤く、シャキシャキとした食感が特徴です。詳しい理由は分かっていませんが、唐風呂地区以外の土地に種をまくと、収穫のたびに赤い色が薄くなり白い大根になってしまうそうです。昭和30年代後半までは盛んに作られていた唐風呂大根ですが、種を探るのに手間がかかるなどの理由でだんだん作る人がいなくなりました。「8年くらい前に、農業委員会で足尾地域ならではのものを作ろうという話が出ました。それならば唐風呂大根だということになり、再び栽培を始めた



種となる実をつけた唐風呂大根。

んです」と上原さん。当時は、旧足尾町役場も栽培に協力し、唐風呂大根を復活させる動きがありました。しかし野生鳥獣の被害などで、上原さんの畑以外では思うように大根が育ちませんでした。今でも上原さんは、電気柵や網を張り巡らせ、貴重な種を守るために気を配っているそうです。ほかの地域では栽培に成功した例がなく、現在も宇都宮大学や種苗店が上原さんから種を譲り受け、栽培のための研究をしています。上原さんに今後の目標を聞くと、「大切な種がなくならないよう、なんとか続けていきたいです。今は私を含め2人しか栽培していませんが、地域の人たちにも種を配りたいと思います。そして、毎年行われている山いも品評会のように、唐風呂大根の品評会も開けるようになればいいですね」と話してくれました。

市民文芸

川柳 選者 日野原元児

ひとつだけ雲の自由にさせてやる
 吉原一典
 嫌いだと言った猫ともう三日
 小曾根光秀
 自惚れていたなと爪を切りながら
 大橋芳明
 一服をしていると客がたまに来る
 吉新勝夫
 探される方は気楽なマイペース
 小野口英一郎
 思い出の一つポッケに残しとく
 田中孝

俳句 選者 須藤火珠男

白南風や竹百幹のそよぎ立つ
 星野恒志
 峡に逝く師の跡深し山法師
 渡辺ミチ子
 男体や無言で咲いた山桜
 池田三夫
 握り飯片手に見上ぐつつじ山
 樽谷ムメ
 どくだみや眼帯はずし癒しけり
 鈴木キヌ子
 風鈴を吊せば風の来る気配
 湯沢くに

短歌 選者 阿久津伸一

ありあまる才抱きつつ道半ば刺され
 大出喜代
 し人の無念さいかに
 高野恒子
 背戸に住む鳴く老鶯に励まされ庭の
 草とり掃りていく
 有限の時間数えるに足跡を記して生
 の証とやせん
 関根眞佐子
 ひたすらに雪の木道歩みゆく夢の尾
 瀬沼に水芭蕉萌ゆ
 手塚賀子
 便りあり「大器晩成まだ信ず」傘寿
 の友の筆力強し
 高橋睦美
 男体山の雪解水や大谷川水嵩増して
 せせらぎの音
 佐々木清市

募集しています！

クローズアップ日光人では、紹介したい方やサークルを募集しています。ぜひ情報をお寄せください。※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。また、皆さんからの短歌・俳句・川柳の投稿作品もお待ちしております。なお、氏名にはふりがなを入れてください。連絡先及びくわしくは秘書広報課 広報広聴係 ☎(21)5135